

## 令和7年度 学校運営連絡協議会実施報告書

### 1 組織

(1) 東京都立墨東特別支援学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）

(2) 事務局の構成

主幹教諭（教務主任）＝事務局長、経営企画室長、主幹教諭（肢体不自由教育部門小学部）、主幹教諭（肢体不自由教育部門中学部）、主幹教諭（肢体不自由教育部門高等部） 計5名

(3) 内部委員の構成

校長、副校長3名、経営企画室長、主幹教諭（教務担当）、主幹教諭（生活指導担当） 計7名

(4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）

学識経験者（1名）、江東区立小学校長、就労継続支援施設長、肢体不自由児者父母の会役員、特定非営利活動法人園長、国立がん研究センター中央病院地域医療連携部相談支援室がん専門相談員、江東区猿江二丁目町会長、江東区教育委員会、墨田区教育委員会、千代田区教育委員会、都立墨東特別支援学校 PTA 会長 計11名

### 2 令和7年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和7年 6月30日（金）内部委員6名、外部委員10名

- ・協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
- ・学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題確認
- ・校内授業見学及び意見交換

第2回 令和7年11月11日（火）内部委員7名、外部委員9名

- ・学校経営状況報告、病弱教育部門の概要と取組、学校評価アンケート中間報告
- ・校内授業見学及び協議委員からの教育活動に対する意見交換

第3回 令和8年 1月26日（月）内部委員8名、外部委員6名

- ・学校経営状況報告、授業力向上・DXハイスクール事業の取組報告
- ・学校評価の報告及び学校運営に関する提言、協議
- ・次年度に向けた提言の確認・検討

(2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第1回 令和7年6月30日（金）内部委員6名、外部委員3名

- ・学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察
- ・今年度の学校評価の実施に向けた検討
- ・アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理
- ・報告書（案）及び提言（案）の提案及び確認

第2回 令和8年1月26日（月）内部委員8名、外部委員3名

- ・提言内容の確認及び評価委員長による全校連絡会での提言報告

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

(1) 学校評価の観点

「学校への理解」「学校運営の意気込み」「指導の実践」の観点で実施する。

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

- ・令和7年10月28日（火）から11月14日（金）まで
- ・児童・生徒、保護者、学校スタッフ全員、放課後等デイサービス、病院スタッフ
- ・オンラインによるアンケート（Microsoft Forms・二次元コード併用）

### (3) 主な評価項目

令和7年度学校経営計画に基づく設問12項目(教職員・協議委員は15項目)で評価を実施した。また、自由意見を設定した。

### (4) 評価結果の概要 (校長や学校全般への意見・提言内容)

今回のアンケートは、保護者回答率は、62%であった。4段階評価(「そう思う」「ややそう思う」「ややそう思わない」「思わない」)のうち、肯定的評価(「そう思う」「ややそう思う」)の割合が80%以上の項目が12項目中であり、保護者の満足度は高いと言える。

### (5) 評価結果の分析・考察(校長や学校全般への意見・提言)

#### ○教職員研修の充実

今年度、肢体不自由教育部門では個別学習や特設自立活動での指導プログラム作りなどの取組を行った。特別支援学校学習指導要領解説の中で示されている各教科の目標・内容の一覧を踏まえ、子供たちの発達や学習の習得状況を把握し、教科指導を充実させること、自立活動では障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養うことが求められている。学習習得状況把握表を始めとする指標などを活用して、児童・生徒のアセスメントを的確に行い、目標設定から授業の実施に至るまでの流れを校内で確認することを行っていく必要がある。教職員アンケートでも授業研究の充実を求める声が寄せられており、担当分掌を中心に、授業力向上に向けた教職員研修の充実を進めていく。

#### ○進路指導の充実

昨年度の学校評価に引き続き、進路指導の充実について多くの意見が寄せられている。卒業後の生活を見据え、小学部から高等部の12年間での系統的で組織的な指導を望む意見もあった。本校では多様な障害のある児童・生徒が在籍しており、保護者に向けた進路情報の提供や見学会なども今年度は実施されているが、教職員に対しても組織づくりや研修の機会の充実が求められている。児童・生徒一人一人の状況に応じた進路と進路指導について教職員と保護者が理解する機会を引き続き作っていくことが必要である。

#### ○働き方改革の推進

学校評価において、業務分担の改善、職や職層に応じた業務の遂行、校務の整理・効率化を望む声があがっており、改善が必要な状況である。既存の業務の整理・統合も含めた業務分担の見直し、それぞれの職務内容の再確認、書類の簡略化など、業務の効率化及びワークシェアをより一層進めていく必要がある。

## 4 学校運営連絡協議会の成果と課題(学校の自己評価へ反映)

### (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- 全校読書活動、笑顔と学びの体験プロジェクト、アートギャラリー等での学校一体感の醸成
- 学校だより及び授業参観ガイドの充実、校内の環境整備の促進
- 医療的ケアに関する情報発信及び付き添い期間の短縮化の促進
- 第二次性徴期の生徒対象の「思春期の心と体」の授業の実施

### (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- 校内事故が起きないような対応策及び緊急時対応研修の充実
- 医療的ケアの充実及び保護者の負担軽減
- 進路指導に関する保護者への情報提供及び教職員への研修機会が少ない。
- 保護者アンケートの設問に回答しにくさがある。

## 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項(学校経営計画へ反映)

- ・教職員研修の充実
- ・児童・生徒へのアセスメントの実施及び授業の充実、個別の指導プログラムの作成
- ・進路指導の充実
- ・教職員の働き方改革を推進するための業務分担の整理、効率化

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 11人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう思わ ない	分からない	無回答
11	0	0	0	0	0	0

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議0回

評価委員の職員会議への参加を予定していたが、当日に委員の都合がつかず実施ができなかった。

【成果】

協議委員に参加していただけるよう実施の機会を検討していく。

8 その他

今後も協議委員の方の意見や助言、学校評価アンケートを参考に、学校運営・経営に反映させていく。